

新市民クラブ

医療保険制度の財源 と給付から検証する 地域、世代、保険者 間格差の研修

会派研修

永野裕夫



2018/02/24

研修日時 2月24日（土曜日）
研修場所 東京地方議員セミナー
研修目的 医療保険制度の財源と給付からの検証
地域、世代、保険者間格差について

研修内容

講師紹介



足立泰美教授

現在医学の進歩の恩恵にあずかりたいのに『余命が短いから保険の都合で治療はここまで』と言われてふに落ちない思いをした高齢者がいる、また公的保険存続の不安感を背景に、医療費の節減とサービス切り下げが構造改革と誤解している人も多い。医療技術の発展が可能な限り活用される社会でありたい。そのためには薬や技術の価格決定の合理性が医学進歩を踏まえて調整されることが重要になる。そのことを踏まえながら医療技術向上と保険財政の研修をおこなった。

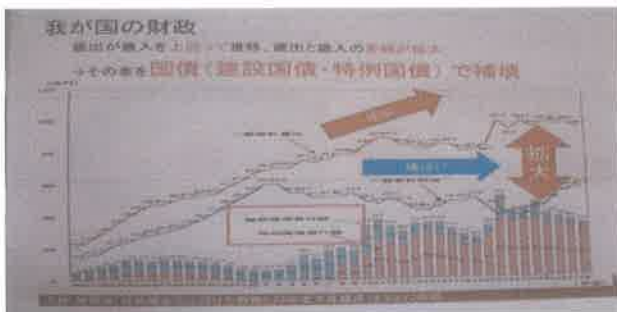
資料は 80 ページに及ぶ



研修は4時間に及んだ



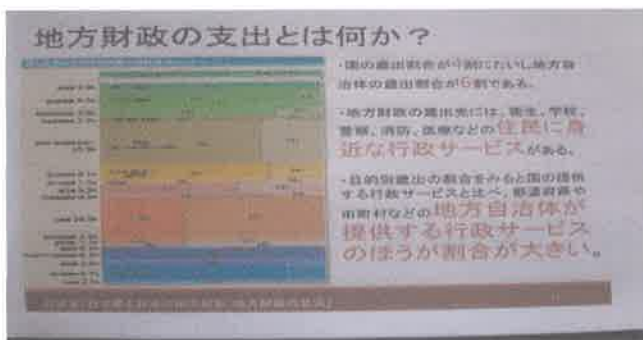
平成28年度一般会計予算



歳出が歳入を上回って推移、歳入歳出の差額が拡大、その差を国債（建設国債、特別国債で）補填
まずは財政健全化に向けた取り組みと予算編成を研修

地方財政の支出とは何か？

国の歳出割合が4割に対し地方自治体の歳出割合が6割である



社会保障の安定財源をどう確保するのか問題点を

研修、社会保険料収入は給付の伸びほど増加してない。なぜなら急激な高齢化の進展とともに社会保障給付費（年金、医療、介護等）は大きく増加、団塊の世代の高齢化によって医療、介護分野給付は GDP の伸びを上回って増加傾向にあるだから日本の社会保障制度では社会保険方式を採りつつも給付費と保険料の差は税収で補填をしているのが現状である。

医療費の国際比較

【医療費の国際比較】 圧倒的に低い治療費

国名	費用	費用	費用
日本	15,000	7,000	400,000
アメリカ	65,000	91,600	2,165,800
イギリス	43,400	73,900	1,737,100

米国の医療費

【米国の医療費】

米国のエピソード
急性虫垂炎で**総額100万円以上**
入院は**1日！！**医療費は**全て自己負担**。

アメリカの医療費 (在ニューヨーク州滞在中HPより)

アメリカの医療費は、日本に比べて非常に高額です。その中でも、マンハッタン区の医療費は月ごとの2倍から3倍ともなわれており、一週間の入院は150ドルから300ドル、専門医を受診すると200ドルから500ドル、入院した場合毎日1日あたり2千ドルから3千ドル程度の費用がかかります。1日の入院費だけで、ニューヨーク州平均所得の1か月分の月給(税込)またはそれ以上を要するのです。

患者・家族では当然医療費で入院・手術(1泊入院)を受けた直後に、1万円以上の請求されています。請求書では、患者ごとの負担について詳しく説明されています。

ニューヨーク州滞在中HPより

日本の医療費の現状

【日本の医療費】

日本に当てはめた場合
急性虫垂炎の**総額31万円**程度で、
入院期間は**1週間！！**患者が**実際負担するのは3万円！！**

日本の医療費 (急性虫垂炎で入院 手術した場合)

手術費	総額約31万円
入院費	約1万円
入院期間	7日間

総額約31万円 (手術費約20万円) + 入院費約1万円 (個室代の代金) + その他
約1万円 (白内服薬約2万円) + 入院費約1万円 (個室代の代金) + その他

その代金は、アメリカでは患者側も負担していただく必要があります。社会のしくみもまったく違うもののお話です。

社会保障制度の充実を日本全体で考える仕組みを研修

【社会保障制度とは】

・病気になってしまった。 ・医療費がいっぱいかかってしまう。	・公的医療保険制度があるので	・自己負担が安くなり、安心して医療が受けられる。
・年金がなくなってしまい働けない。 ・働けないから生活できない。	・公的年金制度があるので	・年をとっても年金給付を受けられるので生活できる。
・仕事をしていただけ、会社が倒産して、職を失った。	・雇用保険制度があるので	・失業給付を得られるので、安心して生活できるし、職を探せる。
・寝たきりになってしまい、介護サービスの費用がいっぱいかかる。	・介護保険制度があるので	・自己負担が安くなり、安心して介護が受けられる。
・年金も失業給付ももらえず、生活に困っています。	・生活保護制度があるので	・健康で文化的な最低限度の生活が送れる。

人々の生活と社会保障

【人々の生活と社会保障】

社会保障制度とは、個人の努力では対処できないある一定の出来事に対して**社会全体で生活を保障する**制度

社会保障制度とは、国民の生活の安定が損なわれた場合に、国民にすこやかで安心できる生活を保障することを目的として、**公的責任で生活を支える給付**を行うものである。

日本の医療保険制度の特徴

【日本の医療保険制度の特徴】

国民皆保険制度
全国民が保険に加入し、被保険者または世帯主が保険料を支払う代わりに重い負担なしで医療サービスを受けられる。

診療報酬点数制度
医療機関に支払われる診療報酬が点数制の公定価格になっている。

フリーアクセス
患者が自由に医療機関を選ぶことができる。



医療費の地域格差

研修において莫大な内容をすべて習得することは非常にハードであるが社会保障制度の充実は例えば国民健康保険財政の持続可能性を高めるために収納率を向上させるには普通調整交付金のようにペナルティを課するのではなく保険基盤安定繰入金のように補助を与えるのではなく特別調整交付金のような形で収納率に対してインセンティブを与えることが必要と研修を受けた。